

たいよう

NPO静岡県青年団連絡協議会

組織部

2012年
11月号

チャレンジャー 挑戦者、ボウリング団体戦で優勝！

平成24年11月9日～12日にかけて、第61回全国青年大会が開催されました。全国青年大会は、友愛と共励をテーマとし、今日まで開催されている伝統ある大会です。

静岡県選手団は総勢121名で参加しました。出場種目は、前回大会において、ベーカー方式で優勝したボウリングをはじめ、フットサル、カラオケのど自慢など、計10種目に出場しました。

いずれの種目もチームプレーが光り、日頃の練習の成果が十二分に発揮できていたと思います。中にはベストメンバーで出場できなかったチームもありましたが、今居る仲間とその日に出せる最高のパフォーマンスで戦う姿を見て、無意識の内に応援する声に力が入りました。特にボウリング競技では、男女共に上位入賞したことは素晴らしかったと思います。この大会を通して、青年一人ひとりの輝く姿を見ることができ、良かったと思います。また、仲間と繋がり、団結して一つの物事に取り組むことの大切さや同じ目標を持って、一緒に進んで行ける仲間の影響力・存在の大きさを改めて感じることができました。

第61回全国青年大会 総監督 中本将之

ボウリング



第二位
FriendshipしずおかA



第三位
FriendshipしずおかC

カラオケ のど自慢



フットサル 第三位 F.C.K.B



来年も、皆様が全力で戦う姿、そして、オレンジ旋風が見れることを期待しています。

藤枝 宅配サンタ

今年の12月22日に行う私たちのメイン事業『宅配サンタ』は、今年もたくさんの応募を頂きました。藤枝では、『その家の為だけのサンタ』を目指して行います。応募して下さったお宅の子どもたち及び家族の皆さんに夢と希望、そして笑顔をプレゼントする為に、日々準備を進めています。

事業を行う上で一番気に掛けたいところは、子どもたちの夢を叶えてあげることです。申込用紙に書かれているサンタのイメージは一人ひとり違い、そのイメージを壊さないように配慮が必要です。英語でしゃべる、一緒に歌ってくれる、手紙をくれる……。全ての家に同じ演出で行うのではなく一軒一軒違った姿のサンタを見せてあげられるようにスタッフたちと打ち合わせをしています。



毎年宅配サンタを行っていますが、子どもたちの反応は、何度見ても新鮮です。喜ぶ子、叫ぶ子、泣き出す子、走り出す子等、私たちの想像を超えた姿をたくさん見せてくれます。そんな姿を見るのが楽しみな気持ち、成功させたい気持ちを原動力に、残りの準備期間に全力を注いでいきます。

藤枝市青年ネットワーク

宅配サンタ実行委員長 齋藤瞳

袋井 ユーコム

袋井市青年団では、「リーダー養成講座 ユーコム」を11月から4回に亘り開催します。

ユーコムは、市内の中学生を対象に、日常では経験することのない、ボランティア要素の強い研修を通して体験したことを、自らの糧にしてもらい今後の生活に活かしてもらうための事業です。

今年は、宅配サンタ（12月22日）及びクリスマス会（12月23日）について、準備・企画段階（12月9日）から中学生が作り上げ、イベントを運営し、各々が振り返りを行います。

参加者の中学生にとって有意義な研修となり、また、クリスマス会に遊びに来た子どもたちにとっても良い時間となるように、スタッフ一同全力でサポートしていきます。

袋井市青年団 団長 田中 信裕



過去ユーコムのクリスマス会の様子

無関心の若者たちよ。只今、血液大ピンチ！！

みなさんは、献血と聞いて何を思い浮かべますか。血液は人間の生命を維持するために必要な成分で、体から一定量が失われると命を落とすこととなります。また、血液の持つ機能が正常に働かなくなると、病気になったりします。血小板が壊れてしまい、流血が止まらないという状態は血液機能不正常の一例です。

なぜ献血が必要かという、血液は、現在の科学でも人工的に造れないものだからです。また、血液は生きた細胞のため、長期保存が不可能です。そのため、血液製剤が必要な人々へ、いつでも十分な量を提供するためには、多くの健康な方の献血への協力が必要になってきますが、現在ほどの血液も不足している状態です。

(日本赤十字社ホームページより抜粋)

こんなことを思っていたりしませんか。

① 場所がわかりません…。

静岡県には東中西にそれぞれ献血ルームがあるので行ってみよう。

東部：献血ルーム・柿田川【駿東郡清水町伏見 58-26】

中部：献血ルーム・あおば【静岡市葵区七間町 8-20 毎日江崎ビル 6F】

西部：献血ルーム・みゅうず

【浜松市中区板屋町 110-5 浜松第一生命日通ビル 1F】

② 協力するにも時間が…。

大丈夫。ほとんどのところが10:00～17:00までやっている。なので自分の都合の良いときに行ってみよう。

③ ちょっと遠いかな…。

移動献血会場として、献血バスが県内各地を移動しているので見かけたら寄ってみよう。

一人の小さな思いやりで、世界各地の人々を救える可能性を秘めている『献血』に、皆さんも積極的に取り組んでみてはいかがでしょうか。自分の血液内容を知れて、一つの健康の目安にもできますよ。

組織部

NPO 静岡県青年団連絡協議会機関紙

たいよう 第56巻-4 平成24年12月15日発行

発行責任者 草野心路 編集・発行 組織部

〒420-0068 静岡市葵区田町 1-70-1

TEL 054-254-2006 E-mail kendan@youthnet.or.jp

FAX 054-253-4650 <http://www.youthnet.or.jp/seinen/>

編集後記

寒い日が続いています。冬は空気が乾燥して、風邪やインフルエンザなどが感染しやすくなります。また12月は忙しい時期ですので体調を崩しやすくなります。手洗いがいをこまめにし、運動を定期的に行い、健康を維持していきましょう。